

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

ニトリロ三酢酸のヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号

3 3 6 5 (017-011)

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No.203「魚類毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

被験物質： ニトリロ三酢酸

方 式： 半止水式 (48時間毎に換水)

供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)

試験濃度： 対照区, 1 ppm, 3 ppm, 10 ppm, 30 ppm, 100 ppm

暴露期間： 96時間

試験液量： 5 L

生物数： 10尾/濃度区

照 明： 16時間明/8時間暗

エアレーション： 無し

温 度： 24±1℃

結 果

試験の結果、ニトリロ三酢酸の設定濃度に基づく96時間の半数致死濃度 (LC50) は 100 ppm以上であった。